



お産の安心ガイド ～分娩方法のご案内～

和痛分娩

当院では和痛分娩を希望者に行っています。

お産では赤ちゃんの頭が膣と会陰を通して出てきますが、この時の腰やお尻の痛みを和らげる方法です。

子宮口が5～6cmの頃に、内診した状態で、細い注射針で膣の左右の奥にある神経に少量の局所麻酔薬を注入します。安全性は高く、また、筋肉に力が入らなくなるような事はなく、いきむときにも影響しません。

産痛を和らげる方法は薬剤を使用するだけでなく、色々あります。

妊娠期のマザークラスや保健指導でも助産師が指導を行なっています。

ご自身に合った方法を取り入れてみてください。



フリースタイル分娩

当院では、仰向けという一般的な姿勢にとらわれず、妊婦さん自身が最も楽だと感じる姿勢を選べます。

自由な姿勢でのお産は、動くことで骨盤が広がりやすくなり、重力によって赤ちゃんが下りやすくなります。痛みを軽減する姿勢を自分で見つけることもできますから、筋肉の余計な緊張をおさえられ、陣痛緩和の効果も期待できます。

ママが心身をリラックスすることで、おなかの赤ちゃんにも酸素が届きやすく、赤ちゃんにとってもメリットがあります。



無痛分娩

健診時にご相談ください。

お産にはさまざまな方法があり、どの方法が選ばれるかは妊婦さんや赤ちゃんの状態によって異なります。当院では「お母さまと赤ちゃんの安全」を第一に考え、最適な方法を医師・助産師と一緒に判断し、サポートいたします。

安心してご出産に臨んでいただけるよう、どうぞお気軽にご相談ください。

今月の赤ちゃん

今回5人目のご出産です。

5人とも当院でのご出産を選んでくださったリピーターさんです。

退院の日、お父さんとお兄ちゃん、お姉ちゃんがお迎えに来てくださり、なんとも微笑ましい写真が撮れました。

みんなの笑顔が幸せで溢れています。たくさんの愛情を受けてすくすく育ってくださいね。

(担当 秋元)



お知らせ



10/1より、帝王切開でご出産された方の入院期間が手術後、7日間となりました。

体調や授乳にご不安がある場合は、入院延長も可能です。

さらに、退院後も安心して過ごしていただけるように、

- 産後ケア（日帰り・宿泊）
 - ご自宅に助産師がお伺いする訪問型ケア
- もご用意しています。

安心して産後を迎えていただけるよう、私たちがサポートいたします



当院の公式Instagramで、
最新情報を発信中！



マタニティクラスのご案内や、入院中のお食事、季節のイベントの様子など、“いま”の当院を写真とともにお届けしています。ぜひQRコードからアクセスして、ご覧ください。フォローもお待ちしております。